

令和2年度 上半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市健康ふれあい農園	所管課	農林園芸課
所在地	岐阜市安食字竹田799番地1		
指定管理者名	ぎふ農業協同組合		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	8,999,629円		
施設の設置目的	農作業体験を通して、自らの健康増進、家族とのふれあい及び農業に関する理解を深める。		
施設概要	貸付農地、利用農地、附帯施設(管理事務所、農機具倉庫、物置、便所、堆肥置場、洗い場、園路、休養施設、駐車場、農機具類及び農具類)		

●利用状況

		R02 上半期	R01 下半期	R01 上半期	H30 下半期	H30 上半期
貸付農地利用区画数		131	138	135	147	144
利用状況	一般用区画A(30㎡) 利用率	61.1%	60.3%	58.0%	63.4%	63.4%
	一般用区画B(40㎡) 利用率	37.5%	43.8%	43.8%	45.3%	45.3%
	一般用区画C(50㎡) 利用率	32.8%	36.1%	36.1%	39.3%	34.4%
	身体障害者用区画E(2㎡) 利用率	46.6%	60.0%	60.0%	73.3%	73.3%
	収穫体験利用組数(組)	130	875	581	887	590
収穫体験利用人数(人)		239	2,504	1,668	2,566	1,658

※R2の利用数(組)と利用数(人)はR1たまねぎ体験参加者人数(玉ねぎは申込年度の翌年6月に体験実施)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応(雑草、有害鳥獣等) ⑤栽培指導 ⑥耕耘機の無料貸出し	①業務日誌より、午前8時出勤、午後5時退勤の確認 ②申請受付1名、農園管理3名(交代制)配置 ③JAのHP・JAぎふ広報誌に掲載 ④随時除草作業実施 ⑤月1～2回の巡回指導、年2回の栽培講習会実施 ⑥上半期(4月～9月): 101件
自主事業・提案事業	①貸付区画利用者からの依頼による有料耕耘作業	①1,200円/10㎡、1,400円/20㎡、1,600円/30㎡ 上半期(4月～9月): 2件
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③受水槽、浄化槽点検 ④利用農地栽培管理 ⑤作物残渣処理 ⑥貸付農地の適正管理指導 ⑦除草作業 ⑧新型コロナウイルス感染予防対策	①日常清掃(トイレ、管理事務所、倉庫/毎日)実施 ②定期巡回(午前9時頃)実施 ③委託業者による点検(年1回) ④作物11種の栽培管理、気象変動に対応した作業変更の実施 ⑤水分排除後、利用農地輪作予定区画にすき込み、土づくりに活用(チップバーにより残渣を粉碎) ⑥未利用貸付区画の緑肥栽培実施、巡回時に随時管理指導実施 ⑦側溝のり面、駐車場等、随時除草作業確認 ⑧チェックシートの活用(入口等での手指消毒剤の補充。貸出農機、トイレ、テーブルやドアノブなど不特定多数が触れる場所の清掃・消毒。従業員の健康チェック) ・従業員のマスク着用 ・対面場面の遮断措置
施設修繕	指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	農業器具等の修繕を自己の営農組織に依頼することで、経費を縮減した。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①年に一度研修を行い個人情報保護方針を作成し、適正に取り扱っている。 ②緊急時の対応マニュアルを整備している。 ③関係法令を遵守している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	未実施(収穫体験を中止したため) 貸付区画利用者へのアンケートは下半期実施予定。
利用者アンケートの実施結果	
利用者からの要望・苦情と対処・改善	

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	利用申込みが区画数を越えた場合の公平な利用者決定方法を講じるか。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	利用者募集PRを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	気象状況に応じた栽培方法を選択しているか。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者からの意見を聴取しているか。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	利用者からの意見について、検討・対応策を講じているか。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	栽培指導を実施しているか。	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質確保のために体制を整備しているか。	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	専門の栽培指導員を配置しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
区分評価					A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービス低下を招くことなく、コスト削減に努めているか。	A	A	A
		収支計画の妥当性	計画に基づき、遂行されているか。	A	A	A
		管理経費削減の具体的方策	具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当、勤務時間を工夫し、より効率よく業務が出来るよう配置しているか。	A	A	A
		利用料金を徴収する施設の場合、収入の増加を図るための方策	利用者増につながるイベントを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	経営は安定しているか。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	作物栽培経験、農業機械操作技術を有する職員を配置しているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	スタッフ間の連携がとれた体制が整備されているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	人材育成の方策は策定されているか。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	自然災害、防犯、事故等の緊急時における危機管理のための方策が確立されているか。	A	A	A
		リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	資金力は十分備わっているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
区分評価					A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元法人、団体の育成に貢献しているか。	A	A	A
		地元の住民、高齢者、障害者等の雇用	地元農家の雇用に貢献しているか。	A	A	A
		地元での資材等の調達	地元で資材を調達しているか。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	地元からの要請があった場合に応じられるか。	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	地元開催のイベントに協力しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防対策の実施。 ・岐阜市健康ふれあい農園にしかない作物の導入を検討している中で、ヤーコンを試作栽培。 ・新型コロナウイルス感染症が感染拡大傾向にあったため、収穫体験が中止になったが来年度に向けた圃場の手入れや、草刈など農園の管理に努めた。 ・貸付区画退去者の圃場に資材が置いたままになっているところの片づけや、農園内のごみの収集をおこない美化に努めた。
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メール等のITを活用して収穫時期を逸しない連絡を行うことについて、通信手段の改善について検討中。 ・利用者にレシピの提案サービスの継続。 ・収穫体験について、収穫までの過程を体験させることができないか検討中。
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市健康ふれあい農園にしかない作物の導入を検討し試作する。今期はヤーコンを栽培したがまだ何度か試作が必要なため今後も試作を続ける。 ・前回につづき収穫体験年間体験コース会員に対して、パンフレットを配布するなどして貸付区画のPRを実施する。 ・作物の品質向上と予定時期に安定した収穫ができるように努める。 ・新型コロナウイルスの感染予防対策をしっかりとこころなう。

●所管課の意見

<p>・貸付区画の利用者が年々減ってきているが、施設の紹介や募集記事等を機関紙に掲載したり、各所で紹介パンフレットを配布するなど、利用者拡大に努めていることは評価したい。利用者が高齢化していることもあり、今後も利用者減の傾向は続くと考えられるが、引き続きPR活動に努めてもらいたい。</p> <p>・新型コロナウイルスの流行により、今年度の収穫体験すべてを中止としたが、すでに作付け済であったたまねぎについてはドライブスルー方式で指定した日時に取りに来ていただく等、利用者の安全に配慮したこと、感染防止対策用のポスターを数か所に設置、ロッカールーム等の換気等、感染予防対策はしっかりと行っていたことについては評価したい。</p> <p>・来年度、収穫体験がスムーズに再開できるよう、3月時点での状況により判断することにはなるが、圃場作りや年度初めのじゃがいもの作付けの準備を進めてもらいたい。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・実際の利用人数を計る意味で、貸付農地の利用者が毎日何人利用しているか把握できるとよいと考えます。 ・収穫時期を逸さないためにSNS等を利用し利用者へお知らせする手段を工夫するとよいと考えます。 ・市民農園とのすみわけを明確にしてください。 ・パンフレットの作成・配布等による利用者の拡大を図る取り組みは、評価できます。今後とも、利用者の多様なニーズを踏まえた新たな取り組みを期待します。 ・新型コロナウイルスの影響下での農園の運営について、利用率を上げる工夫および、将来の運営形態の在り方も見据えた新たな管理運営体制の充実を期待します。
